

中国法定感染症発病概況 2018 年 2 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.

リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は前月比-37.2%となり、総数自体は例年とほぼ同じ

当月発病総数は 520,152 例であり、前月比-37.2%と減少。過去平均（過去 3 年の同月および前後月の 9 カ月平均）比は+8.8%で、過去平均標準偏差（SD）+0.6 となり、例年とほぼ同じ。（図表 1）

■乙類は例年より若干多く、丙類は前月より減少したものの例年より多く発生

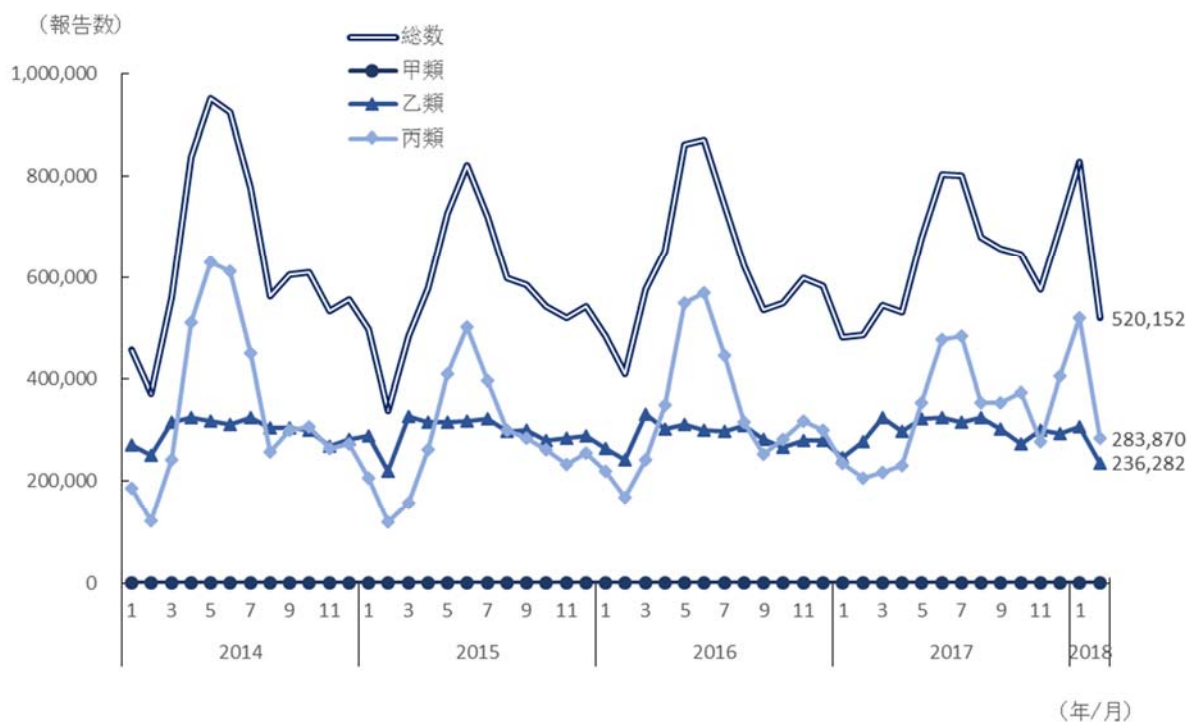
類型（甲乙丙）別*では、甲類の発生はなし。

乙類は 236,282 例（前月比-23.4%）で、過去平均比+15.9%、過去平均 SD-1.2 であり例年より若干多い。

丙類は 283,870 例（前月比-45.3%）で、過去平均比+43.8%、過去平均 SD+2.2 と例年より大幅に多い。（図表 1）

*）中国では、病気のうち 39 の感染症を甲類 2（ペスト、コレラ）、乙類 26、丙類 11 に分類。2013 年 11 月 1 日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09 を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザ A(H7N9)を追加。2016 年 1 月からは、ウイルス性肝炎の内訳に D 型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A 型、B 型、C 型、D 型、E 型、その他肝炎を合算。）

図表 1 発病数

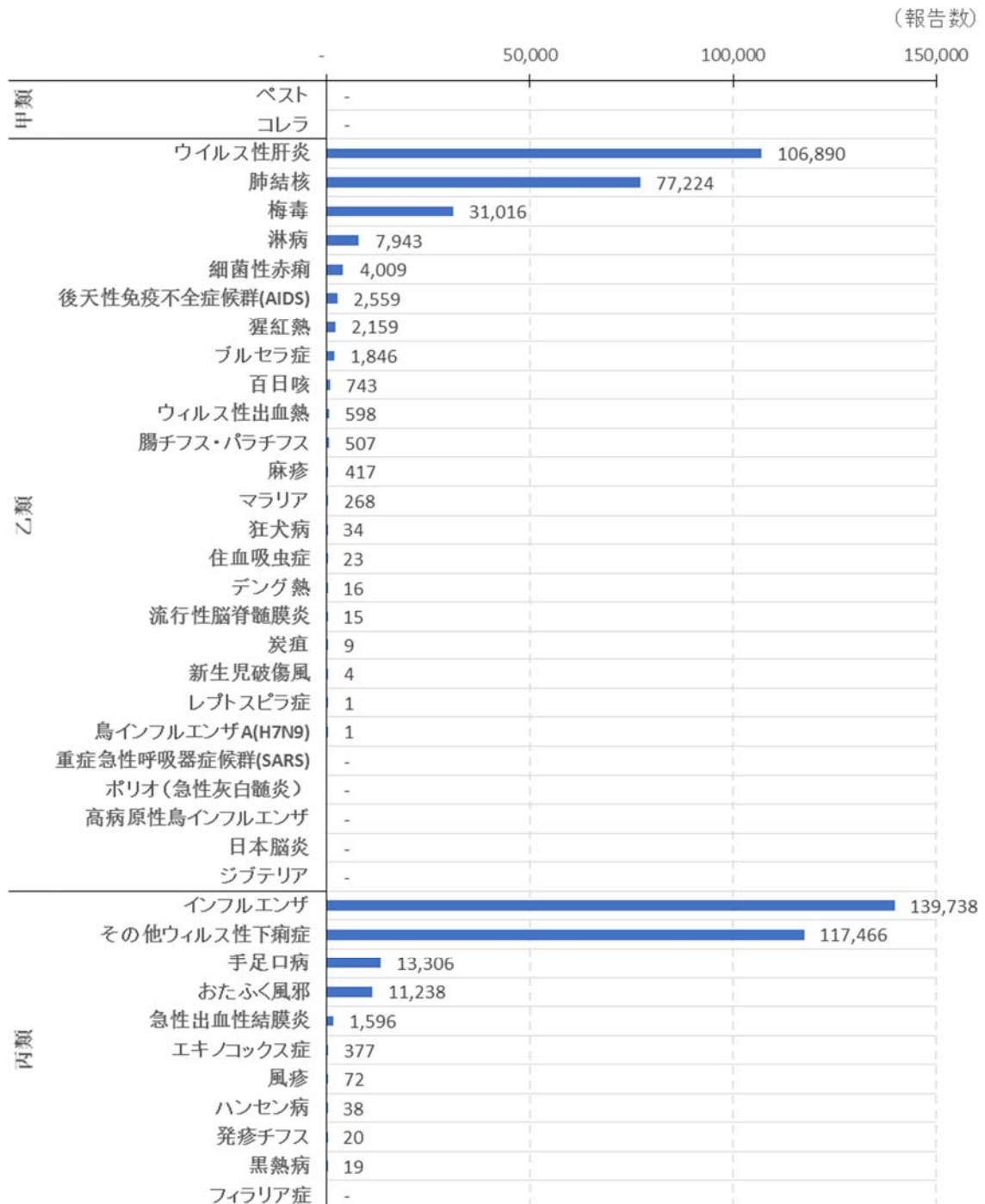


（資料）中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■「インフルエンザ」が最多で発生

感染症別では、インフルエンザが139,738例と最も多い。前月比-49.0%と減少したが、過去平均比+361.4%、過去平均SD+6.4であり、例年と比べ非常に多く発生（図表2、図表3）。

図表2 感染症別：発病数（当月）
〈類型別降順〉



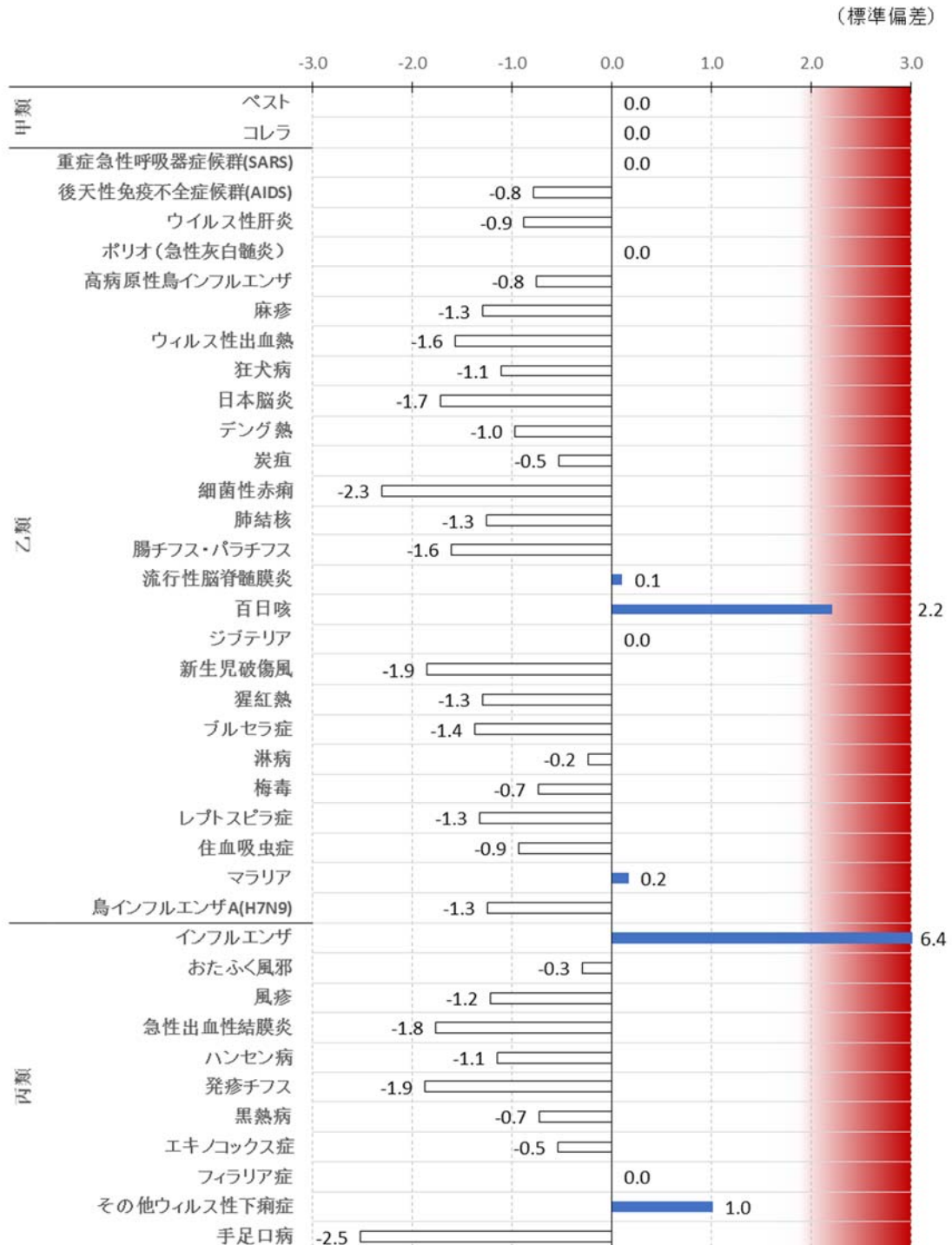
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■ 7 個の感染症が例年に比べ非常に多く発生した

例年に比べ非常に多く発生(過去平均 SD が+2.0 以上)した感染症はインフルエンザと百日咳の 2 つ(図表 3)。

図表 3 感染症別：過去平均 SD (当月)

〈統計記載順〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■「インフルエンザ」は3カ月連続で非常に多い

インフルエンザは139,738例であり、3カ月連続で例年より非常に多く発生（図表4）。

図表4 発病数（インフルエンザ）

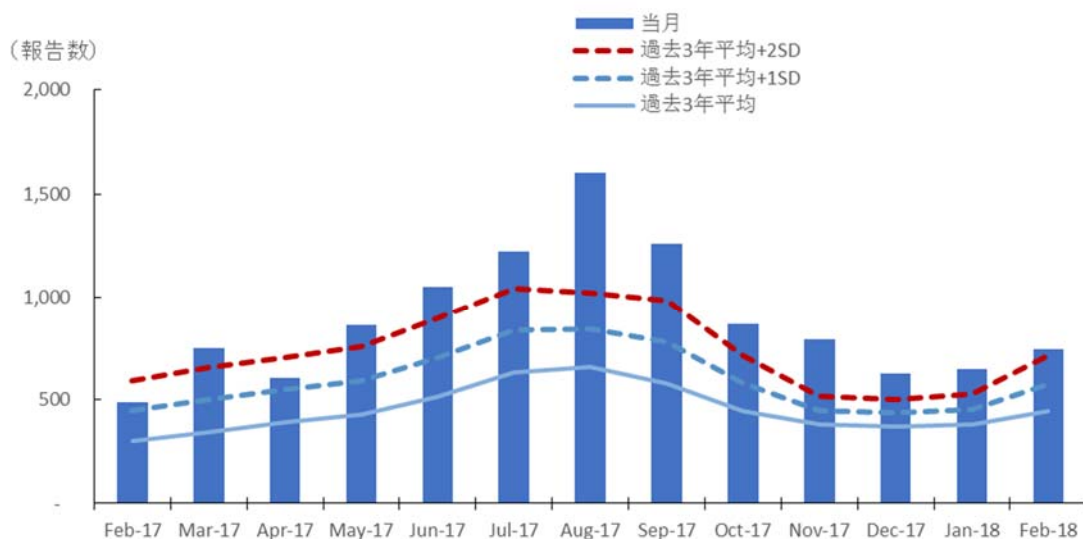


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■「百日咳」は2カ月連続で例年より非常に多い

百日咳は743(前月比+14.5%)で、過去平均比+68.0%、過去平均SD+2.2であり、2017年5月から10カ月連続して、例年より非常に多く発生（図表5）。

図表5 発病数（百日咳）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2018年02月)

病名	発病数	病名	発病数
甲乙丙類総計	520, 152		
甲乙類合計	236, 282	丙類合計	283, 870
ペスト	-	インフルエンザ	139, 738
コレラ	-	おたふく風邪	11, 238
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	72
後天性免疫不全症候群(AIDS)	2, 559	急性出血性結膜炎	1, 596
ウイルス性肝炎	106, 890	ハンセン病	38
A型肝炎	1, 054	発疹チフス	20
B型肝炎	86, 886	黒熱病	19
C型肝炎	15, 373	エキノコックス症	377
D型肝炎	25	フィラリア症	-
E型肝炎	2, 291	その他ウイルス性下痢症	117, 466
未分類型肝炎	1, 261	手足口病	13, 306
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	417		
ウイルス性出血熱	598		
狂犬病	34		
日本脳炎	-		
デング熱	16		
炭疽	9		
細菌性赤痢	4, 009		
肺結核	77, 224		
腸チフス・パラチフス	507		
流行性脳脊髄膜炎	15		
百日咳	743		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	4		
猩紅熱	2, 159		
ブルセラ症	1, 846		
淋病	7, 943		
梅毒	31, 016		
レプトスピラ症	1		
住血吸虫症	23		
マラリア	268		
鳥インフルエンザ A(H7N9)	1		

(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2018年3月20日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2018年2月

Copyright (C) 2018 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.